

(別紙)

第2次審査応募様式

No. _____ (1次 No. _____) (事務局用)

教育改善提案計画調書

所属学科名 (または所属課又は団体名) _____ 本学・解剖学担当教員 _____

応募者氏名 (代表者氏名) _____ 馬 寧 _____

(注) 枠は適宜移動して下さい。ただし全体でA4で2枚までとします。

記述は12ポイントでお願いします。

1. 提案名	解剖・組織実習室へようこそ
2. 目的と効果など	<p>解剖学を学習するために、本学では模型を用いて人体解剖実習を行っています。実習では、全身の血管、骨、筋肉、神経、内臓を詳細に観察しながら諸器官の位置、構造や形態、名称を学習します。しかし、解剖学は医学用語の勉強としての要素があるため臨床系の授業が始まる1学年か2学年にやらざるを得ません。臨床医学の概念がない学生にとって時間割上の時間内だけの実習では高い満足度は得られません。本学のすべての学部学科で解剖学を必要としますが、一部の学科には解剖学実習の科目の設定はありません。学年が進み、授業や臨床実習などを通じて異なる解剖の世界が広がっていることを知ると、今度は画像や診療の視点から、局所解剖・三次元解剖を勉強したくなります。現に見学実習を終えた学生や卒業生から解剖学をもっと勉強したいという声が聞かれます。基礎と臨床では、解剖に視点のギャップがあるにもかかわらず、そのギャップを埋めるような解剖学・組織学の実習の場がなかったことが大きな問題でした。</p> <p>平成26年4月から本学で初めての解剖学実習室が新設されることを機に、解剖学実習室を全学の学生の解剖学や組織学の自己学習の場としてオープンにして、実習時間外に学生自身の空き時間に利用して学習できるように活用したいと考えます。これによって学生の学内滞在時間が延長し、自己学習時間が増加し、さらには学習意欲向上に繋がるものと考えます。</p>